



編集 SEF事務局  
 連絡先 03-3669-0499  
 URL <http://sef-jpn.org>

**巻頭のことば 「エネルギーの将来像」** **理事 白崎善宏**  
 将来のエネルギー源に関して米国を中心とする「シェールガス革命」が話題の中心ですが、エネルギー危機日本の救世主なのでしょうか。IEA(国際エネルギー機関)2012年5月に「天然ガスの黄金時代の実現は、世界の莫大な非在来型天然ガス資源(シェールガス、タイトガス等)の相当な割合が、採算がとれるコストで、かつ、環境保護上受容しうる方法で開発できる場合に限られている」とし、「シェールガス革命」が起きているとは言っていません。その大きな理由は水圧破碎法等による環境問題とシェール井の寿命は短いからです(2~3年で衰退へ)。2007年頃は米国ではトオモロコシのバイオエネルギーが声高に言われ、大統領の年頭調書にもありましたが、今はほとんど聞かれません。日本も将来像を見定めて行かねばなりません。

<b>10月度(第125回)理事会より(10月23日)</b>	
<b>&lt;10月度理事会(第125回)&gt;</b> 1. 「受託業務収入配分規定」制定→継続審議 2. 「日給支給規定」制定→審議/承認 3. 事務局業務委託費見直しに関して→審議/承認 4. 京葉プラント業務支援関連契約締結の件→報告/了承	5. 準会員退会の件→報告/了承 6. 平成25年9月末産業業務支援収支報告→報告/了承 7. 平成25年9月末SEFサロン会計報告→報告/了承 8. 平成25年9月度会計報告→報告/了承

**事業報告「平成25年度上半期を終えて」** **事務局長 丹治直昭**  
 早いもので、2013年(平成25年)度上半期を終えました。上半期の前半は、前年度決算のまとめ、会計監査そして、6月の総会とイベントが続き、バタバタと過ぎてしまった感じです。前年度が、赤字も覚悟しなければならぬような厳しい予算でのスタートでした。事務所を移転するなどの経費圧縮策を断行。結果、幸いと言うか、当初予想よりはかなりの収益改善を果たす事が出来ました。又今年度は、新事業開拓チームを結成し、積極的な事業拡大を図る事によって、収支のバランスのとれた予算を組むことが出来た事もあり、ホッと一安心でした。  
 上期後半は、今期の施策を実施して来ました。事業部が新規事業開拓に力を入れている間、事務局は各種規定類の整備充実を進めて来ました。マダマダ不足が沢山ありますが、今後も継続して行く所存です。又、HPの更新、「SEF たより」の発行などの広報活動にも力を入れています。カタログの見直しと言うテーマも、テーブルに上がって来ています。  
 会計を担当頂いている準会員さん以外は、(新米)事務局長が、小使い兼務でこれらを進めています。手の届かない所が多々あると思います。会員の皆様のご理解と、ご協力を頂きながら、これからも一步一步施策を進めて行きたいと思っています。

**SEFサロン 第79回 案内** **担当理事 白崎善宏**  
 10月のSEFサロンはお休みで、次回のサロンは下記の通り11月に第79回を開催します。  
 日時:2013年11月27日(水)18時 場所:青学会館内・レストラン「フィリア」  
 講師:川崎克正氏 三菱商事企画業務部欧阿中東 CIS チーム シニア・アドバイザー  
 演題:「アルジェリアをめぐる映画と音楽」  
 50年代のアルジェリア独立戦争、90年代のイスラム過激派による内戦、そして、未だ記憶に新しい昨年1月のインアメナス人質事件と不幸な歴史ばかりが注目されるアルジェリアです。アルジェリアは「地の果て」であると同時に思いのほか、身近なところにも存在しています。日本はアルジェリア独立前から同国の民族解放戦線(FLN)の事務所を受け入れ、独立時にいち早く同国を承認した国でもあります。映画や音楽の内からいくつかをご紹介します。それを発端として、その時代の時代背景や、アフリカ、中東、フランスの文化が屈折して混ざり合うアルジェリアの文化について紹介する。

<b>9月度会員動向</b>	
会員入退会 正会員入退会 変動無し 準会員入退会 大村伸夫さん退会	<b>9月末現在の会員数</b> 正会員-28名 準会員-32名 賛助会員-2社